

千葉大学医学部附属病院で 内視鏡的逆行性膵管胆管造影関連手技を施行された患者様 の皆様、ご家族の皆様へ

2024年2月29日

消化器内科

消化器内科では、胆膵疾患における内視鏡的逆行性膵管胆管造影（ERCP）関連手技（内視鏡を用いて本来の胆管や膵管の流れとは逆方向から胆管や膵管を造影・評価する手技）の診断・治療成績-retrospective study-に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

1976年1月1日から2023年12月31日まで内視鏡的逆行性膵管胆管造影（ERCP）
関連手技を施行された方

1. 研究課題名

「胆膵疾患における内視鏡的逆行性膵管胆管造影（ERCP）関連手技の診断・治療成績-retrospective study-」

2. 研究期間

2024年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

現在までの当院で施行した治療成績を解析することで、今後も安全に内視鏡的逆行性膵管胆管造影（ERCP）関連手技を行うための研究です。

1976年1月以降の胆膵疾患において内視鏡的逆行性膵管胆管造影（ERCP）関連手技が行われた方の診療録に記載されている、診療情報、治療方法、治療に用いた器具の種類、治

療時間、合併症の有無を含めたその後の経過などの記録を調べ、検討します。

本研究においては、下記（5. 研究組織）に挙げる施設においてデータが収集され、氏名等の個人を識別できる情報を削除したうえで千葉大学医学部附属病院へ情報が集約され、解析がおこなわれます。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、性別、ECOGPS（患者の全身状態を日常生活動作のレベルに応じてあらわした指標）、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴等、生化学検査、血液学的検査等の臨床検査結果、画像情報（CT, MRI等）、胆管・膵管カニュレーション成功率（カニュレーション：細いチューブのような物を入れる）、胆管結石・膵石治療成績、ドレナージ（排液）成績（Stent開存期間、閉塞率の評価）、内視鏡的逆行性膵管胆管造影（ERCP）関連手技後合併症等

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	大山 広
共同研究機関名	研究責任者
東千葉メディカルセンター	亀崎 秀宏
君津中央病院	吉田 有

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院消化器内科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：横手 幸太郎）

消化器内科 講師 大山 広

043（222）7171 内線